

池端構成員提出資料

SNW (Skilled Nursing Ward) の提案

日 時:平成27年9月9日17:00~

1. 新しい病院内施設 (SNW) の提案
2. SNWの条件を考える
3. 病院・施設における面積基準・平均単価・自己負担の比較
4. 病院病棟から施設への転換による減収と費用負担
5. 医療の在り方とその費用負担

SNWの条件案

- 病院内にのみ認可
- 面積基準; 6.4m²以上、4人部屋以内
- 廊下幅1.8m以上
- 看護配置; 40:1
- 介護配置; 30:1
- リハビリ配置; 包括
- 介護保険施設とするか、
住宅扱いで医療外部門にするか

病院・介護施設の居室面積基準と一人あたりの最低家賃

	(経過措置) 病院 病床	病院 病床	介護 療養	SNW	グループ ホーム・ 小規模 多機能型 居宅介護	老健	特養	有料 老人 ホーム	サ高住 (共同の 居間、食 堂、浴室 等がある 場合)	サ高住
病室面積 (居室)	4.3㎡	6.4㎡	6.4㎡	6.4㎡	7.43㎡	8.0㎡	10.65㎡	13㎡	18㎡	25㎡
定員	5～10人	4人以下	4人以下	4人以下	1人	1～4人	1～4人	1人	1人	1人
廊下幅 (中廊下)	1.6m	2.7m	2.7m	1.8～ 2.7m	1.6m (建築基準法)	2.7m	2.7m	2.7m	1.6m (建築基準法)	
最低家賃	13,000円	19,500円	19,500円	19,500円	23,000円	24,000円	32,000円	40,000円	54,000円	80,000円
計算根拠 【建築費】 ㎡単価=30 万円、20年 償還、 金利2%想 定 【一人あたり の建築面積】 病室(居室) 面積×2倍と する	8.6㎡×30 万円÷20 年÷12ヶ月 =10,750円 金利入れ て約13,000 円	12.8㎡ ×30万円 ÷20年 ÷12ヶ月 =16,000 円 金利入れ て約 19,500円	12.8㎡ ×30万円 ÷20年 ÷12ヶ月 =16,000 円 金利入れ て約 19,500円	12.8㎡ ×30万円 ÷20年 ÷12ヶ月 =16,000 円 金利入れ て約 19,500円	14.86㎡ ×30万円 ÷20年 ÷12ヶ月 =18,575 円 金利入れ て約 23,000円	16㎡×30 万円÷20 年÷12ヶ 月= 20,000円 金利入れ て約 24,000円	21.3㎡ ×30万円 ÷20年 ÷12ヶ月 =26,625 円 金利入れ て約 32,000円	26㎡×30 万円÷20 年÷12ヶ 月= 32,500円 金利入れ て約 40,000円	36㎡×30 万円÷20 年÷12ヶ 月= 45,000円 金利入れ て約 54,000円	50㎡×30 万円÷20 年÷12ヶ 月= 62,500円 金利を入 れて約8万 円

病床機能別1日平均単価の比較

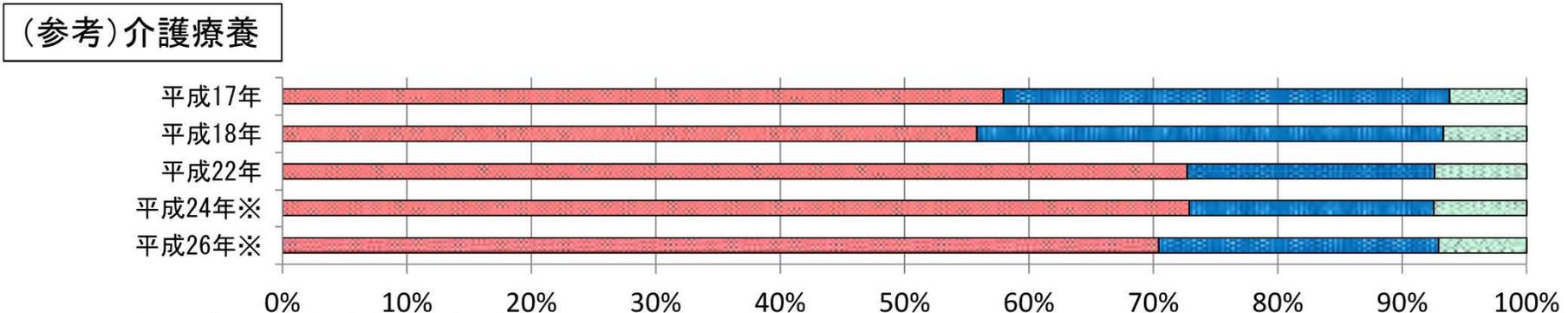
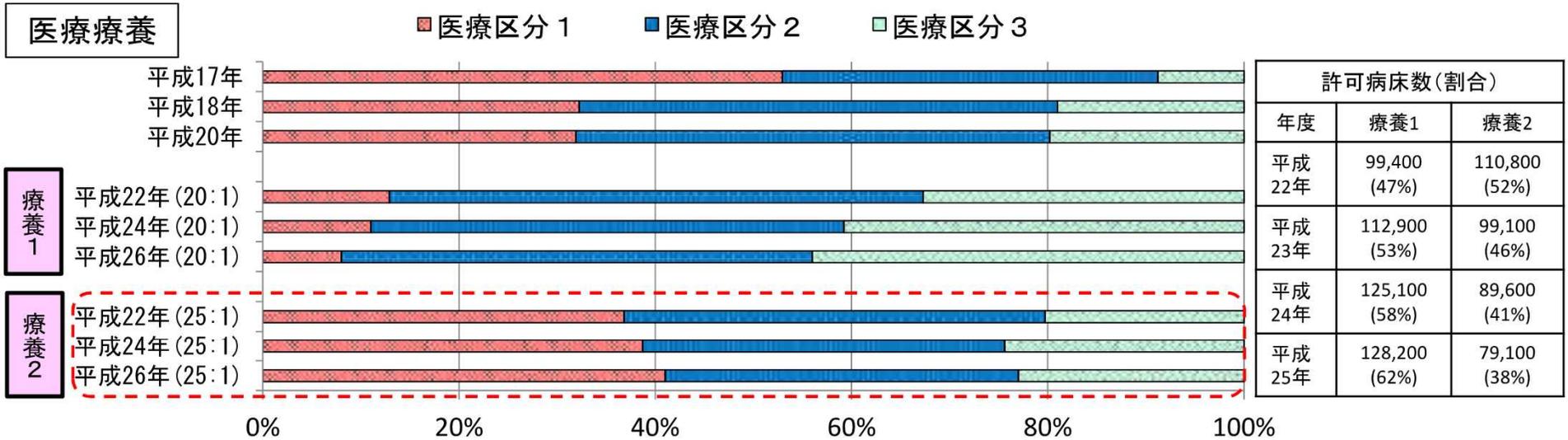
病床・施設種別	1日平均単価
一般病床	40,000円
地域包括ケア病棟	30,000円
医療療養病床1	20,000円
医療療養病床2	16,000円
介護療養型医療施設(看護6:1,介護4:1) (療養機能強化型A)(要介護4)(多床室)	13,930円
介護療養型医療施設(看護6:1,介護4:1) (療養機能強化型以外)(要介護4)(多床室)	13,410円
介護療養型老人保健施設 (療養強化型)(多床室)(要介護4)	13,130円
介護療養型老人保健施設 (療養強化型以外)(多床室)(要介護4)	12,460円
介護老人保健施設 (在宅強化型)(多床室)(要介護4)	11,790円
介護老人保健施設 (従来型)(多床室)(要介護4)	11,030円
SNW	11,000円
特別養護老人ホーム (多床室)(要介護4)	9,710円

100床あたりの主な人件費

	一般慢性期 (15:1)	地域包括ケア病棟	医療療養病床 (20:1)	医療療養病床 (25:1)	介護療養病床	SNW	介護療養型老健	(従来型)老健	特養
配置基準	看護15:1	看護13:1	看護20:1 介護20:1	看護25:1 介護25:1	看護30:1 介護20:1	看護40:1 介護30:1	看護・介護 3:1 (うち看護 2/7)	看護・介護 3:1 (うち看護 2/7)	看護・介護 3:1 入所者100人の場合; 看護職員3人
医師	6.25人	3人	3人	3人	3人	-	1人	1人	必要数
看護職員	34人	39人	25人	20人	18人	13人	10人	10人	3人
介護職員	-	-	25人	20人	25人	17人	24人	24人	31人
1ヶ月当たりの人件費 (※給与額を想定)	医師;130万円×6.25人=8,125,000円 看護;35万円×34人=11,900,000円 計; <u>20,025,000円</u>	医師;130万円×3人=3,900,000円 看護;35万円×39人=13,650,000円 計; <u>17,550,000円</u>	医師;130万円×3人=3,900,000円 看護;35万円×25人=8,750,000円 介護;25万円×25人=6,250,000円 計; <u>18,900,000円</u>	医師;130万円×3人=3,900,000円 看護;35万円×20人=7,000,000円 介護;25万円×20人=5,000,000円 計; <u>15,900,000円</u>	医師;130万円×3人=3,900,000円 看護;35万円×18人=6,300,000円 介護;25万円×25人=6,250,000円 計; <u>16,450,000円</u>	看護;35万円×13人=4,550,000円 介護;25万円×17人=4,250,000円 計; <u>8,800,000円</u>	医師;130万円×1人=1,300,000円 看護;35万円×10人=3,500,000円 介護;25万円×24人=6,000,000円 計; <u>10,800,000円</u>	医師;130万円×1人=1,300,000円 看護;35万円×10人=3,500,000円 介護;25万円×24人=6,000,000円 計; <u>10,800,000円</u>	看護;35万円×3人=1,050,000円 介護;25万円×31人=7,750,000円 計; <u>8,800,000円</u>

医療区分の年次推移

○ 療養病棟入院基本料1の届出病棟では医療区分1の患者の割合は減少する傾向にあるが、療養病棟入院基本料2の届出病棟ではその割合は増加する傾向にある。



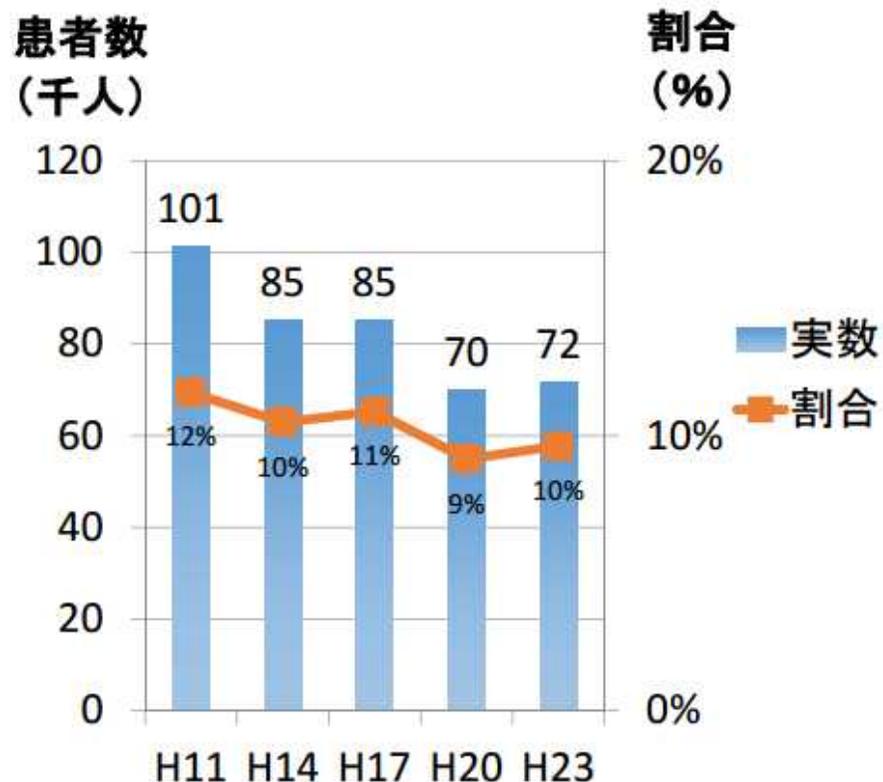
(出典) 平成17～20年:慢性期入院医療の包括評価に関する調査
 平成22年:医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査
 平成24年:医療療養;平成24年度入院医療等の調査、介護療養;療養病床から転換した介護老人保健施設等のあり方に関する調査研究事業
 平成26年:医療療養;平成26年度入院医療等の調査、介護療養;介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業

※出典から不明・無回答・未実施の割合除外して再計算している。

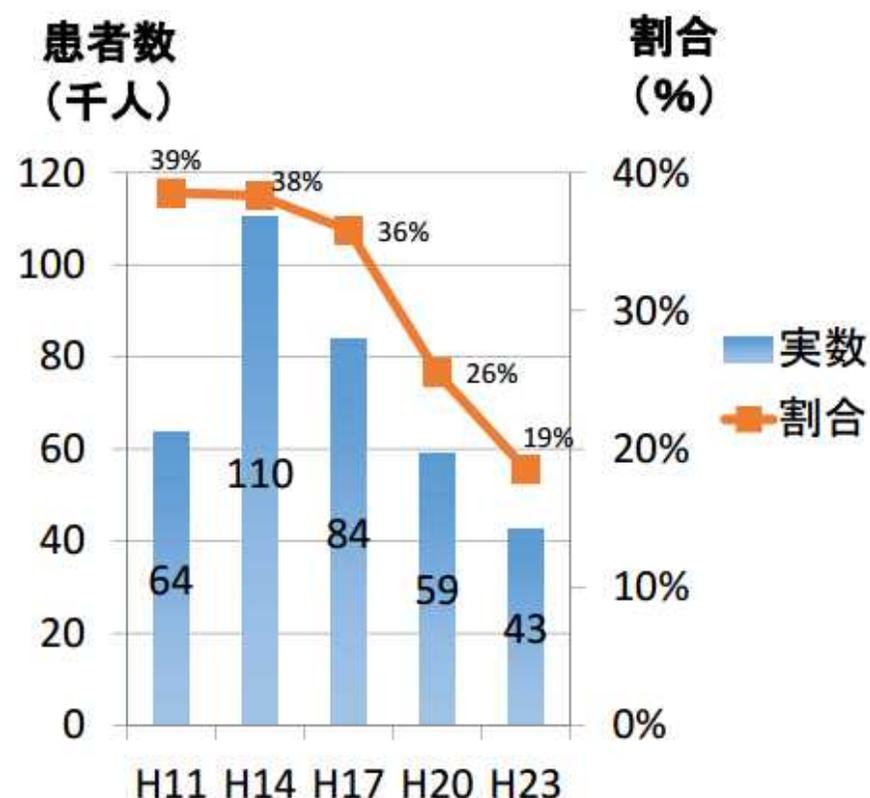
「受け入れ条件が整えば退院可能」な患者

○ 医療機関が「受け入れ条件が整えば退院可能」と判断している患者数は、減少傾向にあるが、今なお一般病床、療養病床を合わせると、11万5千人にのぼる。

一般病床



療養病床

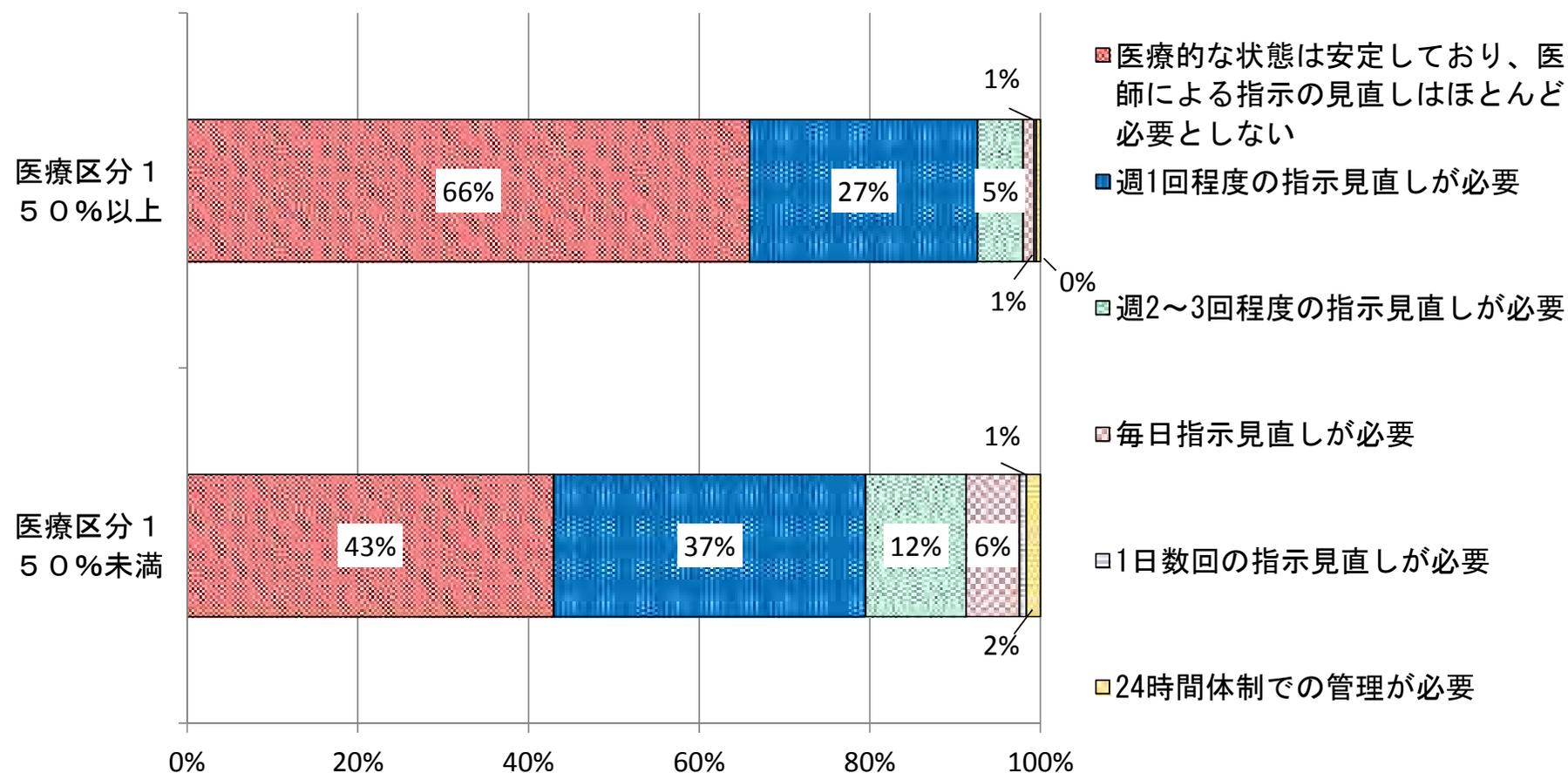


出典：平成11-23年患者調査

医療区分1の割合が高い病棟の患者像①

- 医療区分1の患者の割合が50%以上の病棟では、50%未満の病棟と比べて医師による指示の見直しがほとんど必要でない患者の割合が高く、60%を超えていた。

<医師による指示の見直しの頻度>

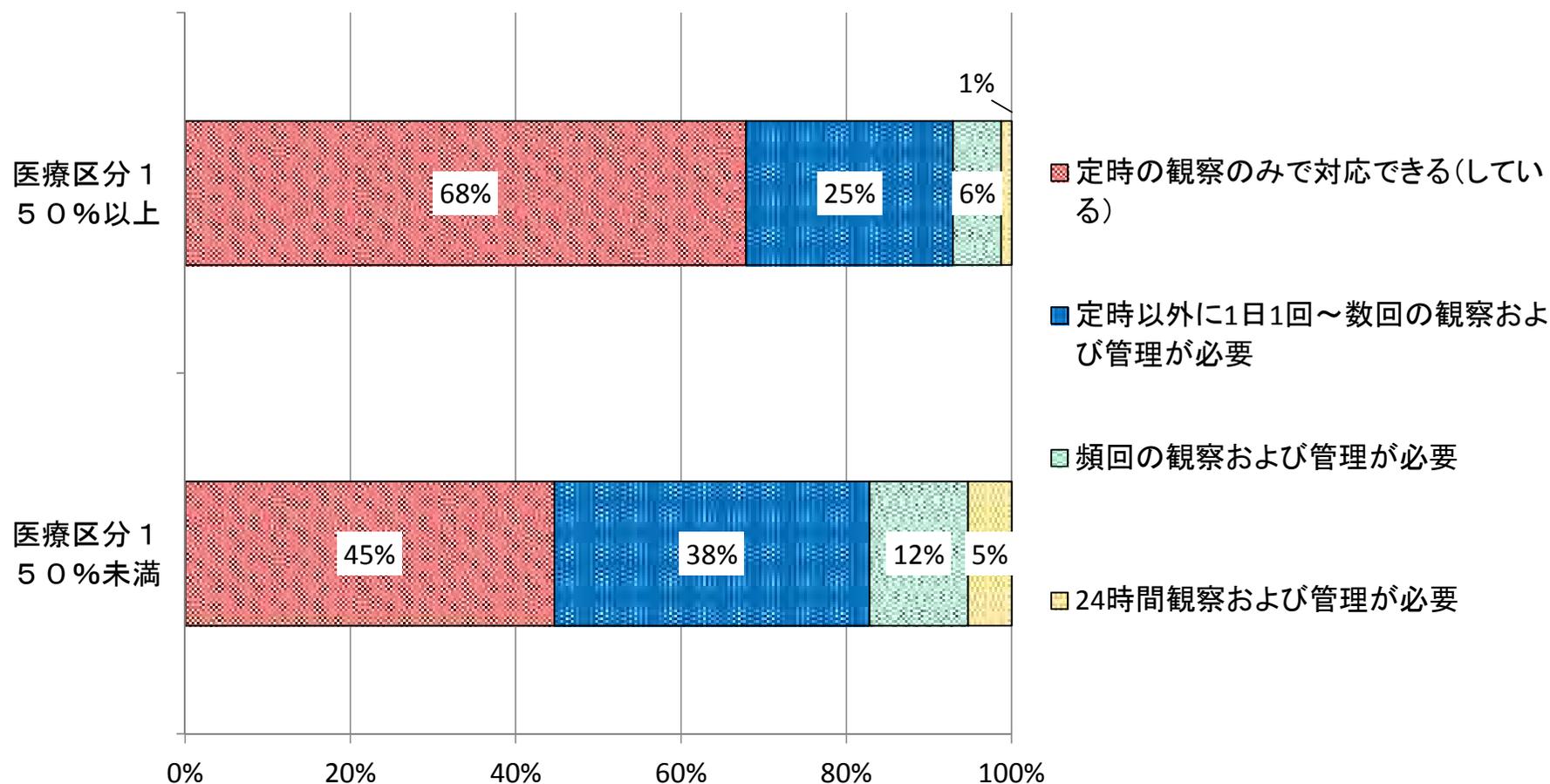


出典:平成26年度入院医療等の調査(患者票)

医療区分1の割合が高い病棟の患者像②

- 医療区分1の患者の割合が50%以上の病棟では、50%未満の病棟と比べて看護師による定時の観察のみで対応できる患者の割合が高く、60%を超えていた。

<看護師による観察及び管理の頻度>



療養病棟入院基本料2についての課題と論点

【課題】

- 療養病棟入院基本料1では、医療区分2・3の患者が8割以上であることが要件になっているが、療養病棟入院基本料2においては、このような要件は設けられていない。
- 療養病棟入院基本料1の届出病棟では医療区分1の患者の割合は減少する傾向にあるが、療養病棟入院基本料2の届出病棟ではその割合は増加する傾向にある。
- 医療区分1の患者の割合が特に多い病棟では、他の病棟に比べて医師の指示の見直しがほとんど必要の無い患者や、看護師が定時の観察のみで対応している患者の割合が高かった。



【論点】

- 医療療養病床の機能を有効に活用する観点から、療養病棟入院基本料2の病棟においても、医療の必要性の高い患者を受け入れることを促すべきではないか。